

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-18134

(43) 公開日 平成11年(1999) 1月22日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
H 0 4 Q 7/22  
H 0 4 B 7/26  
H 0 4 Q 7/38  
7/28

識別記号

1 0 1

F I  
H 0 4 B 7/26  
1 0 8 B  
1 0 1  
1 0 9 N  
H 0 4 Q 7/04 K

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-161060  
(22) 出願日 平成10年(1998) 6月9日  
(31) 優先権主張番号 97 07098  
(32) 優先日 1997年6月9日  
(33) 優先権主張国 フランス (F R)

(71) 出願人 391030332  
アルカテル・アルストム・コンパニイ・ジ  
エネラル・デレクトリシテ  
ALCATEL ALSTHOM COM  
PAGNIE GENERALE D' E  
LECTRICITE  
フランス国、75008 パリ、リュ・ラ・ボ  
エテイ 54  
(72) 発明者 エブリン・ル・ストラ  
フランス国、75015・パリ、リュ・マルモ  
ンテル・22  
(74) 代理人 弁理士 川口 義雄 (外1名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 デジタルセルラ無線通信システムの基地局から同報制御論理チャネルを送信する方法

(57) 【要約】

【課題】 デジタルセルラ無線通信システムにおけるセル間ハンドオーバーに要する時間を短縮する。

【解決手段】 本発明方法は、セル間のハンドオーバーを実行するのに有効な情報を搬送する一つ又は複数の同報制御論理チャネルを含む第一のチャネル (F、S) 群と、セル間のハンドオーバーを実行するのに有効でない情報を搬送する一つ又は複数の同報制御論理チャネルを含む第二のチャネル (B) 群とを区別することと、該第一群の一つ又は複数の論理チャネル (F、S) が第一の物理的なチャネルによって支持され、該第二群の一つ又は複数の論理チャネル (B) が、第二の物理的な論理チャネルによって支持されることを特徴とする。

BEST AVAILABLE COPY